

## 新宿区 NPO 活動団体登録票

申請年月日 平成 20 年 4 月 1 1 日 (最終更新日:平成 30 年 2 月 20 日) No. 7 0

法人名 代表者名 設立年月	特定非営利活動法人 人と人をつなぐ会 竹原 のぞみ (タハラ ノゾミ) 平成 19 年 12 月 7 日
主たる事務所	〒169-0073 新宿区百人町 2-16-13 ヘレンハウゼ 101 号 電話: 03 (5330) 3795 FAX: 03 (5330) 3796 E-mail: info@npo-ppj.net
目的 (定款の目的)	この法人は、広く一般市民から地球市民に対し、ドキュメンタリー映像を通して、地球規模の環境問題や貧困問題などから、地域においては高齢者・未来を担う子供などの社会問題に関して警鐘を鳴らすべく、調査・研究・啓蒙活動を行うことで、人と人が支えあい人間らしく心豊かに生きる社会を現実化するために寄与することを目的とする。
現在主に行っている活動状況	福祉支援事業: 見守りケータイの普及と高齢者安心住宅の建設、管理、運営 エコ事業: 桜 1,000 本の苗木植樹 映像文化事業: NHK と合同で、アマゾン川流域の森林伐採と水銀汚染現場の撮影予定。日韓合作映画「母さんと呼ぶな」の映画制作 広報事業: 会長講演会、高齢者向け住宅見学バスツアー、おやじの集い不定期開催、マスコミ対応
新宿区民を対象とした活動状況 (予定も含む)	地域包括センターと新宿社会福祉協議会と三位一体となり、「医・食・住」に取り組み、「孤独死ゼロ・要介護ゼロ」を目指しています。具体的な対策として、「見守りケータイサービス」普及と「クリニック付き高齢者安心住宅」建設の推進。
活動地域	新宿区を中心として、全国
活動頻度	事務所: AM10:00~PM6:00 イベント・講演会: 土日祝日
事業費	27 年度 総事業費 (1,349,433 円) ① 特定非営利活動費 (1,349,433 円) ② ②/① = (100) %
事業年度及びその他の事業の有無	12 月 1 日~11 月 30 日まで その他事業 有 ・ <u>無</u>
所轄庁への届出 書提出状況	27 年度東京都へ届出
活動分野	1, 6, 7, 9

## 新宿区 NPO 活動団体登録票

運 営 状 況	<p>① 会費</p> <p style="margin-left: 20px;">学 生 入会金・年会費無料</p> <p style="margin-left: 20px;">賛助会員 年会費 3,000 円</p> <p style="margin-left: 20px;">正会員（個人） 入会金 10,000 円・年会費 120,000 円</p> <p style="margin-left: 20px;">法人会員 入会金 10,000 円・年会費 120,000 円</p> <p>② 会員の内容及び会員数</p> <p style="margin-left: 20px;">学生 12 名</p> <p style="margin-left: 20px;">賛助会員 103 名</p> <p style="margin-left: 20px;">正会員 2 名</p> <p style="margin-left: 20px;">ゴールド会員 2 社</p> <p style="margin-left: 20px;">合計：126 名</p> <p>③ スタッフの構成</p> <p style="margin-left: 20px;">専従スタッフ：3 名</p> <p style="margin-left: 20px;">男女構成：男性 1 名 女性 2 名</p> <p>④ 意思決定の方法</p> <p style="margin-left: 20px;">① 理事会（理事 9 名）</p> <p style="margin-left: 20px;">② 総会 年 1 回</p> <p style="margin-left: 20px;">③ 理事会 随時</p>
これからの課題	<p>① 見守りケータイの普及</p> <p>② 桜ハウス住宅の建設と管理</p> <p>③ ツアーの開催運営</p>

**NPO から区民の方への PR**

独居高齢者世帯が増えて地域住民同士のつながりも薄れる中、皆が 100 歳になっても元気で楽しく安心して暮らせるように、「身体的健康・精神的健康・社会的健康」を迫及して参ります。これから、IT 機器をフル活用した見守りケータイを通じて、地域の高齢者を見守って行こうという取り組みを全国に広めていきたいと考えています。また、クリニック付き高齢者安心住宅の建設に協力し、高齢者が安心・安全に暮らせるような住宅建設に取り組んでまいります。

高齢者の「医・食・住」を考慮し、「孤独死ゼロ・要介護ゼロ」を目指します。